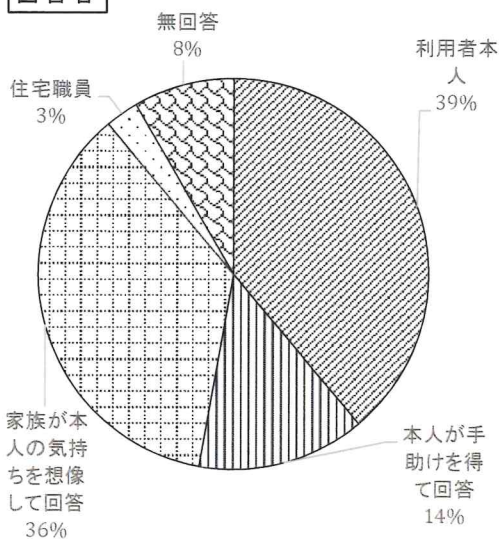


平成30年度 訪問看護利用者満足度調査の報告について

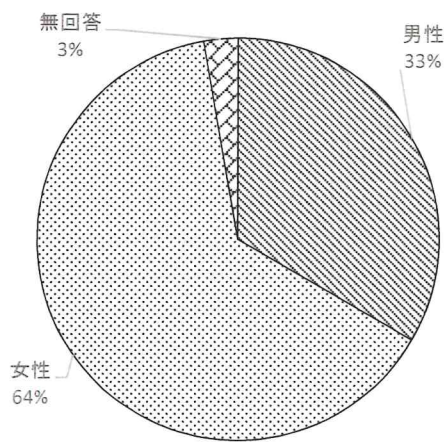
おいそがしい中、アンケートにご協力頂き、沢山の有り難いご意見や貴重なご意見を有難うございました。スタッフ一同、我が事として受け止め、利用者様・ご家族様お一人一人に寄り添っていきけるよう、今後のケアに活かしていこうと考えています。お気づきの点がございましたら、アンケートにかかわらずお知らせ下さいますよう、今度ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

訪問看護リハビリテーション 温つとほむ 所長 海岸 美子

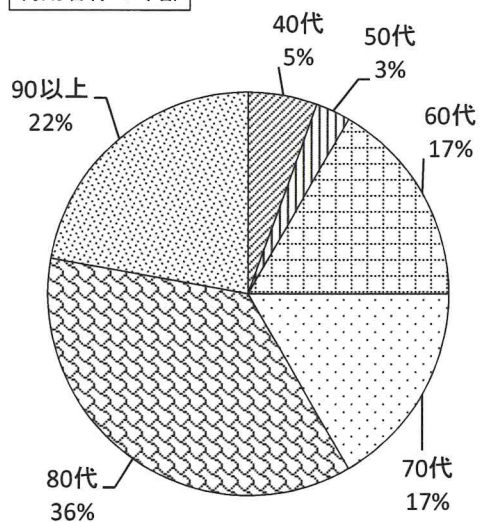
回答者



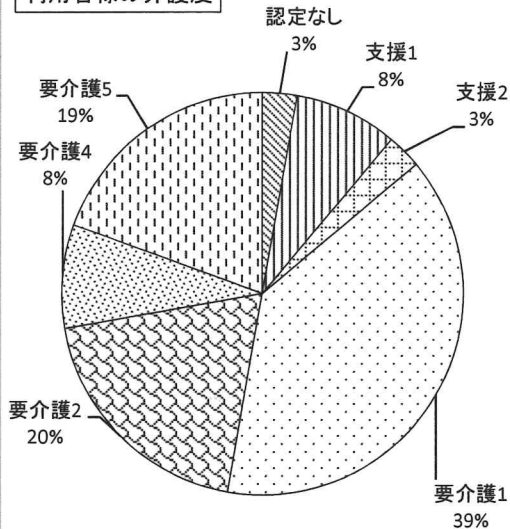
利用者様の性別



利用者様の年齢

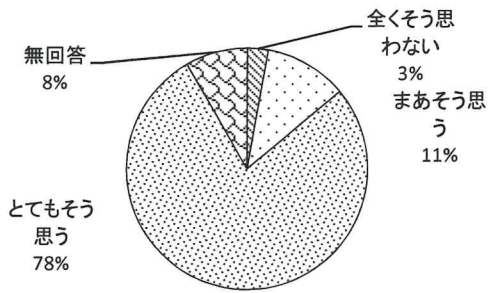


利用者様の介護度

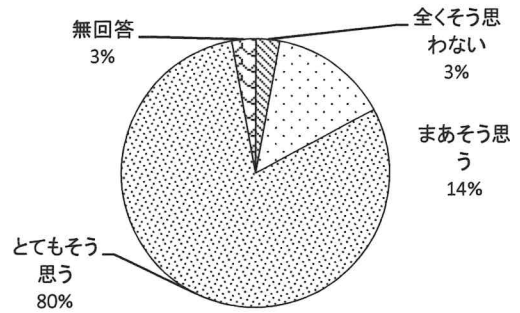


看護師によるサービスについて

⑨ 今後に起こりうる身体の悪化(床ずれや痛みなどを予防するために、先を見越して関わってくれる)

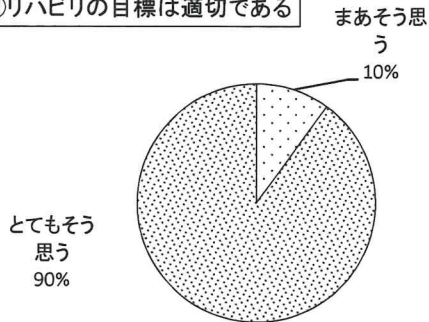


⑩ 行っているケアの内容とその理由や意味を説明してくれる

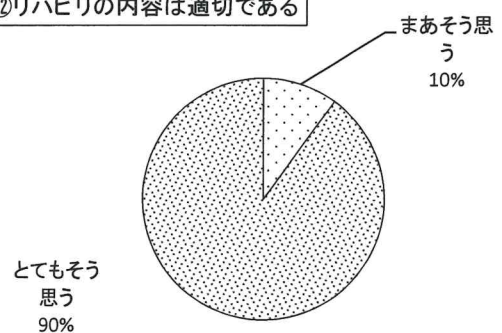


療法士によるサービスについて(利用されている方のみお答えください)

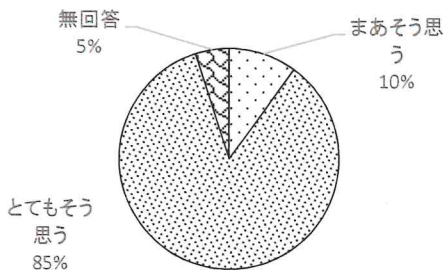
⑪ リハビリの目標は適切である



⑫ リハビリの内容は適切である

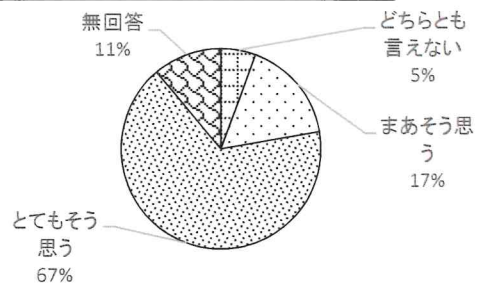


⑬ リハビリの目的や方法をわかりやすく説明してくれる

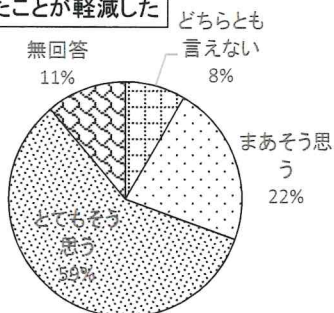


訪問看護・リハビリを利用する前と比べて

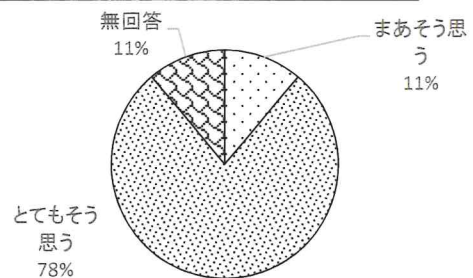
⑭ 本人の身体の状態が安定したり、苦痛や症状が和らいだ



⑮ 不安や困ったことが軽減した

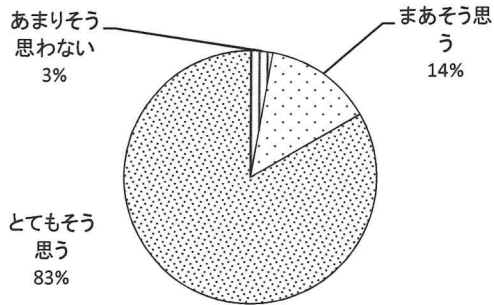


⑯ 全体的に、サービスの内容に満足している

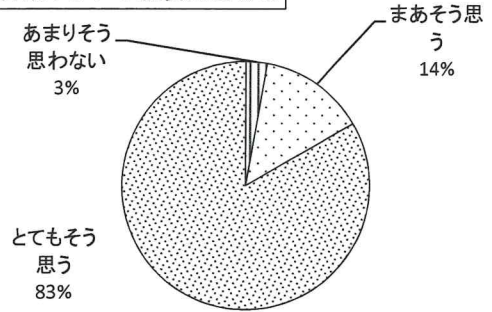


訪問看護・リハビリのサービスについて

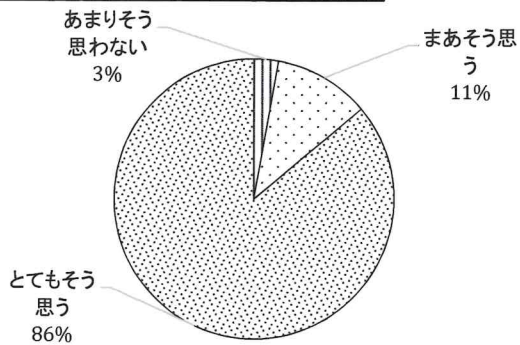
①約束した時間を守ってくれる



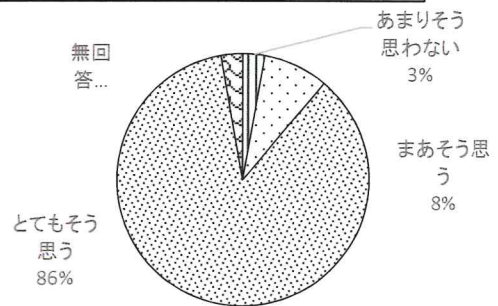
②言葉づかいや服装は適切だ



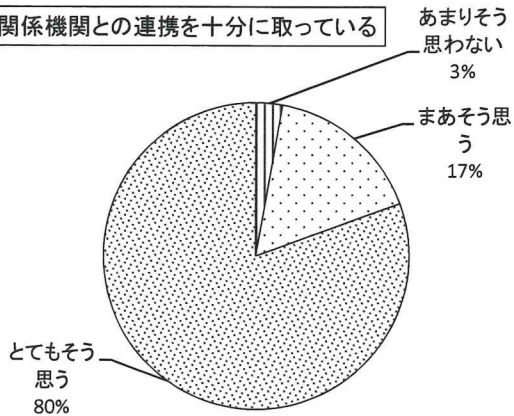
③その日の体調や状態に配慮してくれる



④本人と家族の希望や考えをよく聞いてくれる

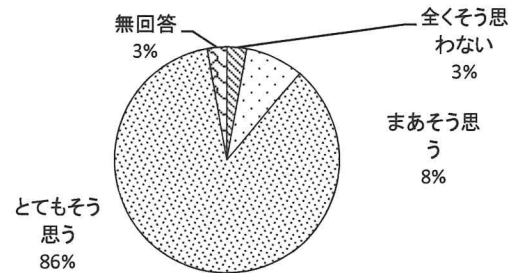


⑤関係機関との連携を十分に取っている

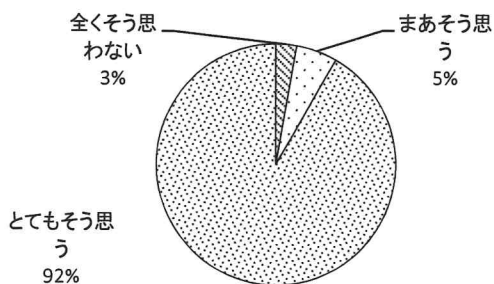


看護師によるサービスについ

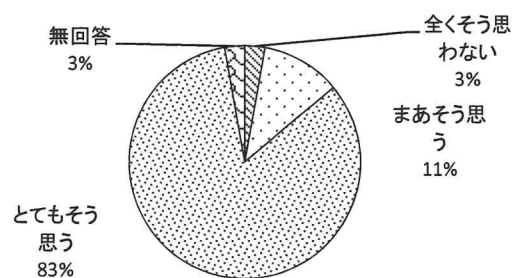
⑥本人の身体の変化について良く気づいてくれる



⑦身体の状態の変化に合わせて、適切なケアの方法を提供してくれる



⑧今後の身体の見通しについて、本人と家族にわかる言葉で説明してくれる



皆様からのご意見等

- ・少々体調が良くなるまで来ていただこうかと思っております。
 - ・丁寧な対応をいただき感謝しています。
 - ・ありがとうございます。おかげさまでとても回復して良くなりまして感謝しております。ありがとうございます。
 - ・いつもお世話になり大変ありがたく思います。今後も宜しく願います。
 - ・しっかりと良くやっていただいておりますのでとくに申し上げることはなにもございません。
 - ・良くやって頂いてありがとうございました。
 - ・人物人柄ともに良い方々であり、貴御関係者の人選あるいは運営方針の良さが分かりました。とくに老令となりますと、人々とのつきあいが少なくなりますので貴御関係者のような方々の大切さを痛感した次第です。今後とも貴御関係の発展を御祈り申し上げます。
 - ・いつもお世話になっております。緊急時にも施設の方が訪看の方へ連絡をして見ていただけているので感謝しております。ありがとうございます。これからもよろしく願います。
 - ・本人がいつも来てくれるのを楽しみに待っていて体を楽になり家族以外に話し相手がないので言葉を聞き取ってくれて楽しい時間になっている。
 - ・いつもたすけていただきありがとうございます。これからもよろしくおねがいます。
 - ・⑮がとても大事です。(私にとって)
 - ・心も不安も楽に成っております。
 - ・いつもありがとうございます。今後もよろしく願います。
 - ・いつも明るい笑顔で話してくれるのでとても話しやすく、何でも相談出来て助かっています。
 - ・訪問看護を利用させていただき日々なんとか生活していける事に感謝しております。また他の機関との連携もスムーズにさせていただいており、不安なく過ごすことができ本当にありがたいと思っております。今後ともよろしく願います。
 - ・いつも訪問看護ありがとうございます。便の調節もしていただき大変助かっています。
 - ・毎回、明るく爽やかに介護や支援していただいています。
- 個々の人格や病の性質により、様々と難しい事柄も多いと想います。私的には、毎回の訪問サービスがとても、ありがたく思っています。職員の皆様には、職務中に辛い時や苦しく成った時には、何時も嬉しく待ち望む利用者も、多く居る事も忘れないで下さいませ。これからの活躍も、大きく飛躍されます様にと願っています。
- ・生活の中で考えた末やっていたことに対して訪看さんの医学的見地から正しい事や考えを強制されることが何回かあって、それが正しいだけに(そうはできないで葛藤していたこともあり)そのジレンマでストレスが強くなったことがあった。介護者に心の余裕がないのでそれをはねのけるパワーがなくストレスをかかえて悶々としてしまうことがある。又利用者に身体上のトラブルがあった時「これからは弱っていく」といわれた時、それが事実でだけにとでも落ち込んだ。そうはわかっていつも希望をもって介護をしていることをわかって欲しかった。ただ、ナースやリハの先生の質問をするとの的確に答えて下さる知識と経験には感謝しています。

その他ご意見

・アンケートに答える序文内で、回答者の情報選択部に『要介護度』の欄が、有りました。『介護保険利用者（65歳以上の方）』の分類しか、有りませんでしたので、今回『認定なし』を選びました。

実際、65歳未満の障がい者の方は、『自立支援法』を利用してます。更に、『自立支援法』の中でも、要支援認定レベルが、区分1～区分5位迄存在して居たと思います。利用者が、どの様な制度や各種サービスを受けて居るのか、身体状況なのか等も明確にする事で、看護ケアやリハビリ等の施術計画にも役立つのでは、ないでしょうか。

各制度の要支援・要介護・支援区分に、統合統一出来る互換性も、範囲基準もまちまちなので難しい事なのでしょうけれど、生活能力・身体能力・認知能力などで、一定の仕切り分類が出来る様に工夫すると、利用者の求められて居る物事や、施術の際に何をどこまで行えば、維持・改善・回復が、どれ程の効果が望めるのか等の想定や計画等にも、役立てる事も出来るのでは、ないでしょうか。

・人は、自身の病と向き合う時に、ほとんどの方は、病と闘いながら『勝とう！』とする。病に限った事でもないけれど、人で有るが故に『勝ち続ける事』など不可能です。闘い続ける間、我が身の体と心が、引き裂かれる胸中の苦しみが続くでしょう。その苦しみを楽にしたいなら、我が希望を捨てずに、病と闘わずして仲良くする。味方にすれば、いいだけに思うのです。何もかも不幸ばかりでも、なかったはず。その病から、人間関係・人生観・価値観までも、平凡で当たり前な日々の中からは、想像もしなかった事までが、鮮明に向き合う様に成れた事こそが、人生の本当のスタートラインに来たのです。『その不幸事』を望みを持って弾みにすると善いです。一つの物事を既成概念に囚われず、幾つもの見方や感じ方が、出来る様に成れます。自身を苦しめるも迷わせるも楽しませるも、他人が決めた訳ではなく、自身が決めただけの事です。意識の改革は、それ程簡単な事ではないけれど、一考の価値は、有ります。私が精神的にも肉体的にも『負けない』理由が、ここに在ります。(参考)